

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	フィールド・スタディⅠA（Field StudyⅠA）		
ナンバリングコード	E11411	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／基礎レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年／開講期	1 年／前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E047902	クラス名	こども・福祉マネジメント
担当教員名	河村 裕次、鍋田 耕作、橋本 拓、大谷 明弘		
履修上の注意、 履修条件	原則として、フィールドスタディⅠA・フィールドスタディⅠBは該当年次のみ受講可能となります。 ・フィールドワークを行う場合は、特に基本的な社会人としてのマナー・常識・態度などが重要になりますので、この点についても指導します。※こども・福祉マネジメントコースのCOC事業等を活用して実施します。 ・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席を心がけてください。 ・グループワーク時は、ディスカッションや作業等に積極的に取り組むことを心がけてください。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	授業中に指定します。		
関連科目	社会福祉入門、フィールドスタディⅠB		

○基本情報		
授業の目的	こども・福祉マネジメントコースでは、経済や経営の知識をベースに、「子ども」「高齢者」「障がい者」など福祉に関する幅広い視点から専門知識やスキルを習得するためには、地域社会が抱える多種多様な課題を知り、体験交流活動で実感し、その課題解決に向けた必要な知識の修得、そして実際にステークホルダーとの協働による課題解決型学修を実施しています。この科目では、地域課題を抱える当事者・専門職と関わりながら、様々な福祉・保育分野の問題点を理解し、その解決に向けての活動を体験してもらい、振り返り等を通して学修することを目的としています。また、この授業は、地域の当事者や専門職との関わりの中で、地域社会における市民的責任や社会的役割を感じてもらうことも目的の1つです。	
授業の概要	こども・福祉マネジメントコースの教育プログラム等に参加し、地域社会の諸課題（地域の抱えている問題点や対象者の抱えている課題など）を解決方法等を学修していきます。 そのために、本科目は、地域課題の解決方法について学修するため、地域課題の分析、企画、準備、実行、振り返りの実践を行う実行型授業を行います。 ※活動によって、課題分析、企画、準備、実行、振り返りの配当時間数が変わることがあります。 ※他学年との協働で実施する場合もあります。 ※第2週～第16週を1サイクルとして、2回以上実施した場合に単位認定を行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリーⅠ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	橋本拓 社会福祉協議会、居宅介護支援センター等において、社会福祉士業務に従事	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	・グループ活動に積極的に参加することができる。チームを意識し、メンバー間の連携をうまく取ることができる(協調性)。 ・グループ内での意見を聴き(傾聴力)、自分の意見をまとめることができる(主体性)(事業企画時)。		10%	20%
【ディプロマ・ポリシー②】	・地域における様々な福祉・保育分野の問題点を知り、その内容を文章化することができる。		30%	
【ディプロマ・ポリシー③】	・活動に積極的に参加することができる(主体性)、企画内容を理解し、それを実行できる(実行力)(事業運営時)。			40%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

多学年協働での実践活動になる。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名	フィールド・スタディ I A (Field Study IA)	授業コード	E047902
		担当教員	河村 裕次、鍋田 耕作、橋本 拓、大谷 明弘		
学修内容					
1. オリエンテーション					
こども・福祉マネジメントコースCOC事業の説明等					
予習	講義の目的等についてシラバスを確認する				約1時間
復習	配布プリントを読み、重要箇所をまとめる。				約1時間
2. チーム編成					
企画に当たっての活動目的等の事前説明					
予習	配布資料の理解(企画の趣旨を理解するため、活動目的等をまとめる。)				約1時間
復習	配布資料の理解(企画に当たっての注意点等をまとめる。)				約1時間
3. 地域課題分析①					
活動の目的等を理解し、その目的が達成できるよう、課題の洗い出しを行う。					
予習	説明資料から課題抽出				約1時間
復習	活動の課題整理				約1時間
4. 地域課題分析②					
分析①で出た課題に対して、今、必要なもの、自分たちが出来ることを検討する。					
予習	解決方法の検討				約1時間
復習	解決方法の整理				約1時間
5. 企画立案①					
再度、事業目的・対象者・内容等を確認し、企画内容の素案を考える。(地域課題解決に向けた企画目的の設定等)					
予習	事業目的・対象者・内容等の確認				約1時間
復習	企画内容の理解				約1時間
6. 企画立案②					
チームごとに事業企画の内容を考え、企画の全体的な流れを話し合う。(企画内容の決定)					
予習	企画に合わせたスケジュールなどを検討				約1時間
復習	グループでの決定事項の確認				約1時間
7. 準備①					
企画書の作成、当日までのスケジュール作成(準備等)、役割分担、当日の流れ、チラシ作成等の役割を、チームごとに設定し、準備する。					
予習	グループでの決定事項の確認				約1時間
復習	企画実施に向けての準備物等の作成				約1時間
8. 準備②					
企画書の作成、当日までのスケジュール作成(準備等)、役割分担、当日の流れ、チラシ作成等の役割を、チームごとに設定し、準備する。					
予習	企画実施に向けての準備物等の作成				約1時間
復習	企画実施に向けての準備物等の作成				約1時間

○授業計画	科目名	フィールド・スタディ I A (Field Study IA)	授業コード	E047902
	担当教員	河村 裕次、鍋田 耕作、橋本 拓、大谷 明弘		
学修内容				
9. 事前準備(ロールプレイ等) 当日のスケジュールに合わせて運営側・参加者側に分かれ、内容・流れの確認等を行う。				
予習	企画実施に向けての準備物等の作成		約1時間	
復習	企画実施に向けてのスケジュール等の確認		約1時間	
10. 事前準備(最終打ち合わせ等) ロールプレイでの変更点等をまとめるとともに、当日のスケジュール・役割等の確認を行う。				
予習	企画実施に向けてのスケジュール等の確認		約1時間	
復習	最終打ち合わせでの確認事項の整理		約1時間	
11. 運営・実行① チームで考案した企画を運営・実施する。				
予習	運営・実施に当たってのリハーサル等を行う。		約1時間	
復習	モニタリングにおける評価の実施		約1時間	
12. 運営・実行② チームで考案した企画を運営・実施する。				
予習	運営・実施に当たってのリハーサル等を行う。		約1時間	
復習	モニタリングにおける評価の実施		約1時間	
13. 運営・実行③ チームで考案した企画を運営・実施する。				
予習	運営・実施に当たってのリハーサル等を行う。		約1時間	
復習	モニタリングにおける評価の実施		約1時間	
14. 運営・実行④ チームで考案した企画を運営・実施する。				
予習	運営・実施に当たってのリハーサル等を行う。		約1時間	
復習	運営・実施の反省点等をまとめる。		約1時間	
15. 振り返り この企画運営を振り返り、個人としての達成点、改善点をまとめる。				
予習	運営・実施の反省点等をまとめる。		約1時間	
復習	運営・実施に関する改善点等を検討する。		約1時間	
16.				
予習				
復習				